



半田病院だより

191号

Handa byouin
dayori

表紙の写真：心臓血管撮影装置 Azurion7 B12/12

心臓血管撮影装置をリニューアルしました!

放射線技術科 放射線技師 徳留 晃



今回導入された装置は、主に循環器領域のカテーテルを用いた検査や治療で使用される、最新機能を多数搭載した血管撮影装置の最上位機種です。従来の装置では心臓の血管を様々な方向で複数回撮影していたのですが、新装置ではわずか2回の撮影で完結できる機能を備えています。そのような新しい機能を用い



Azurion7 B12/12

ることで、検査や治療中の放射線被ばく、造影剤使用量が大幅に低減可能となりました。また、画質が向上したことや治療に用いる周辺機器との連携が容易になったことで治療時間が短縮できます。対象となる主な疾患は心筋梗塞などの狭心症であり、緊急で治療をしなければ命を落とす可能性があります。そこで、当院では実際に治療を行う医師のみでなく、放射線技師など様々な職種が連携して積極的に検査や治療に参加し24時間体制で、安全で質の高い医療の提供が可能となっております。

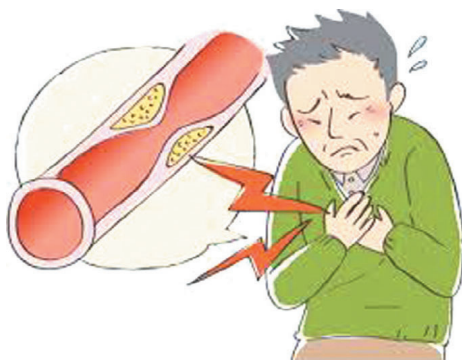
急性心筋梗塞とは

循環器内科 統括部長 鈴木 進



心臓は、全身に血液を送るポンプの働きをしています。ポンプとして働くために、心臓の筋肉（心筋）自身も、酸素や栄養を必要とし、その血液を供給するのが、心臓を取り囲むように広がる冠動脈と呼ばれる血管です。

この冠動脈の血管壁が硬くなったり、血液中のLDLコレステロール（悪玉コレステロール）などが血管壁にたまる動脈硬化が進んだりして、血管の内腔が狭くなって起こる病気を虚血性心疾患と言います。心臓病は、日本人の死亡原因の第2位を占めていますが、その約半数が、この虚血性心疾患が原因とされています。虚血性心疾患は冠動脈の閉塞有無で狭心症と心筋梗塞に大きく分けられます。特に急性心筋梗塞では冠動脈が突然に閉塞してしまうことにより心筋への酸素、栄養の供給が絶たれるため、心筋が不可逆性の壊死に陥り、危険な不整脈や心不全を発症し、命にかかわる可能性のある重篤な病気です。



急性心筋梗塞に対しては、より早期に閉塞した冠動脈の血流を再開させることで、心機能の保持、不整脈リスクの低減、生命予後の改善効果があることが証明されており、一分一秒でも早く、閉塞した冠動脈を再開通させることが重要となります。

本邦では、急性心筋梗塞に対する冠動脈再開通療

法として冠動脈インターベンション、PCI (percutaneous coronary intervention) が標準的に施行されており、当院でも、急性心筋梗塞に対するPCI治療を、より迅速に、より安全に、を合言葉に24時間365日、施行できる体制を整えており、知多半島唯一の3次救急医療施設としての使命を果たせるよう努めています。2019年の急性心筋梗塞に対するカテーテル治療件数は、96件(虚血性心疾患全体では、364件)でした。

不整脈とは

循環器内科 医師 山本 寿彦



心臓は通常、規則正しいリズムで動いており、身体活動に応じて心拍数が調整されています。正常なリズムとは異なる状態が不整脈で、脈が突然速くなったり、遅くなったり、不規則に乱れたりします。自覚症状も多様で、放置しても問題ないものから、動悸で日常生活を著しく制限するもの、失神や突然死に至るもの、脳卒中を起こすものなどがあります。

半田病院は、知多半島医療圏唯一の不整脈専門医研修施設、植込み型除細動器 (ICD) 認定施設となっており、さまざまな不整脈に対して、症状や心臓の状態に応じて、薬剤による治療、カテーテルアブレーションによる根治療法、ペースメーカ等のデバイス植込みといった治療法を提示し、患者さんと一緒になって治療を進めています。

カテーテルアブレーション (経皮的カテーテル心筋焼灼術) とは、直径2mm程度のカテーテルを血管から心臓内に進め、不整脈の原因部位に高周波で熱を加えることにより、その原因を取り除く手術です。WPW症候群、発作性上室性頻拍、心房粗動、心室期外収縮などの不整脈が対象となります。

心房細動に対するアブレーションも積極的に行っています。心房細動は脈が不規則になる不整脈で、日本でも近年増加傾向です。動悸や息切れの症状以外に、脳卒中や心不全を合併することがあります。アブレーションによって動悸症状の緩和だけでなく、脳卒中や心不全のリスクを減らすことができるという報告もあり、薬物療法を含め、治療ガイドラインに準じた適切な治療を提供できるよう、日々研鑽しています。さらに「脳卒中・循環器病対策基本法」が令和元年12月に施行されたので、これからは脳卒中や認知症、心不全、寝たきりの原因となる心房細動に対しても国レベルで具体的対策が計画、実施されることになると期待されます。

アブレーションには、3次元ナビゲーションシステムや先端電極冷却機能付きアブレーションシステム、コンタクトフォース感知機能付きアブレーションカテーテルなどを導入しており、最新のシステムによって手術時間の短縮、安全性の向上、より高い成功率が得られています。

心臓植込みデバイス治療については、医師やデバイス認定士を中心に、ペースメーカ、経静脈ICD、皮下ICD、両心室ペースメーカ、リードレスペースメーカなど、病状に合わせたさまざまな治療を行っています。



新任医師 紹介

4月からの新メンバーを紹介します。

整形外科

三竹 辰徳



名古屋大学手の外科の大学院を卒業してきました。手指の外傷、慢性疾患など、お困りの症状がありましたら、どうぞご相談ください。

脳神経外科

太田 慎次



平成21年卒の太田慎次と申します。よろしくお願い致します。

循環器内科

成田 伸伍



みなさま、こんにちは。4月より循環器内科に赴任となりました成田伸伍と申します。狭心症をはじめとした虚血性心疾患、不整脈、心不全など循環器疾患を全般的に診療いたします。お気軽にご相談下さい。

腎臓内科

天野 竜彰



4月より赴任となりました。腎臓内科の天野竜彰と申します。よろしくお願い致します。

産婦人科

野元 正崇



はじめまして。名古屋大学病院から赴任してまいりました。周産期と腹腔鏡手術を専門としております。知多半島の産科医療の砦として協力していけたらと思います。

麻酔科

三木 雄輔



4月より赴任となりました。麻酔科の三木雄輔と申します。よろしくお願い致します。

消化器内科

辻 顕介



4月より赴任となりました。消化器内科の辻顕介と申します。よろしくお願い致します。

腎臓内科

長谷川智紀



一宮、名古屋大学での研修を経て赴任しました。知多半島の医療に関われるように努力します。どうぞよろしくお願い致します。

脳神経外科

浅井 雄介



4月より岡崎市民病院から赴任しました。半田は気候が温暖で人があたたかいと感じています。脳と知多半島と学びたいです。

循環器内科

亀島 啓太



4月より赴任となりました。循環器内科の亀島啓太と申します。よろしくお願い致します。

消化器内科

細野 幸太



岡崎市民病院から半年間研修に来た卒後4年目細野と申します。半田市はお酒が美味しいと聞いております。短い間ではありますが、よろしくお願い致します。

産婦人科

近田 琴美



岡崎市民病院より赴任となりました。半田の産科医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

小児科

鈴木 真依



4月より赴任しました小児科の鈴木真依です。公立陶生病院、名古屋大学医学部附属病院を経て現在医師6年目です。どうぞよろしくお願い致します。

病理診断科

中村 栄男



4月に赴任いたしました。名古屋大学退職に伴い、今回の赴任とさせていただきます。今後の発展・継続に向け、お手伝いできればと願っております。

放射線科

池田 充



名古屋大学保健学科より参りました。少しでも貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

半田病院は 臨床研修指定病院です

臨床研修指定病院とは、研修医が基本的な知識や手技を習得するために、2年間の臨床研修で内科・外科・救命救急など、多くの診療科を経験し腕を磨く場を提供する病院です。

当院も国から臨床研修指定病院として認定を受け、次世代の医師を育成する役割を担っており、平成29年10月には卒後臨床研修評価を受審し、研修医の教育機関として適切に機能している優れた研修病院として認定をいただいています。



現在、当院には16名の研修医が在籍しており、一人前の医師になるため、そして地域の皆さまが安心して受診できる医師となるため、日々研修に励んでいます。

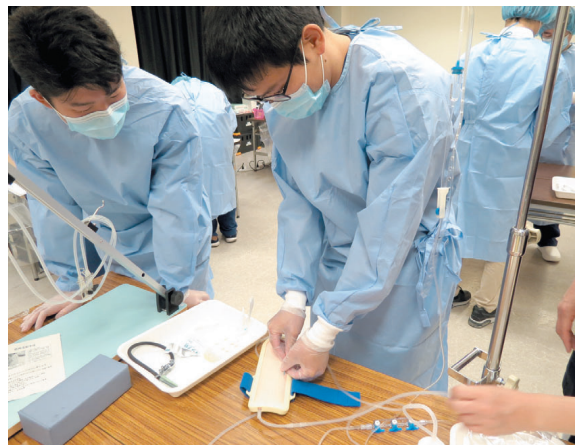
救命救急センターや外来・病棟などにおいて研修医が診療に関わることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

臨床研修の 理念

医師としての人格を養い、医療の果たすべき社会的ニーズを認識しつつ、頻度の多い負傷・疾病に対応できるよう、プライマリケアについて十分な知識・技能を身につけた、地域社会に貢献できる医師を育成します。

臨床研修の 基本方針

- ◆ 臨床研修管理委員会が中心となり、教育の内容をよりよいものとし、臨床研修において生じる様々な問題点を解決するよう積極的に活動します。
- ◆ 病院の職員すべてが臨床研修に常に関わっているという意識をもち、研修医が必要とする症例・機会の提供、研修医の希望・要望の把握、個々の研修医に合わせた適切な指導・評価・問題点の解決を行います。
- ◆ 初期研修のみに留まらず、生涯を通じて常に学ぶ姿勢を保つことができ、医療におけるチームリーダーとしてふさわしい資質を備えた医師を育成します。



高木 淳一

初めまして、高木淳一です。半田市のために明るく元気に働きます!よろしくをお願いします!

兼松 理彦

はじめまして、兼松理彦です。至らぬ所は多いかと思いますが、患者さまのため、誠心誠意努めてまいります。

中島 啓輔

初めまして、中島啓輔です。まだ至らない所も多いですが、精一杯頑張ります。よろしくをお願いします。



令和2年度 臨床研修医1年目

伊藤 駿

初めまして、伊藤駿と申します。患者さんから元気のある研修医、活気のある病院だと思っただけのよう頑張ります。

石津 啓介

浜松医科大学を卒業し、今年度より半田病院で初期研修をしております。半田の医療に貢献できるよう努力して参ります。よろしくをお願いします。

宮川 大輝

初めまして、宮川大輝と申します。半田市の医療に貢献できる様、一生懸命頑張ります。

亀井 洸介

愛知医科大学出身の亀井洸介です。4月から初期研修でお世話になっております。半田病院のために精進してまいります。よろしくごお願い致します。

後藤 夕輝

今年4月からお世話になります、後藤夕輝です。患者さんの気持ちに寄り添って診療したいと思っております。よろしくごお願いします。



新型コロナウイルス感染症対策等にかかる 寄附へのお礼について



皆さまから、たくさんの新型コロナウイルス感染症対策にかかるご寄附をいただきまして、心より感謝申し上げます。

頂戴しました品物につきましては適切に使用し、院内の感染予防に大変重宝しております。今後も皆さまに安心・安全な医療を提供できるよう引き続き務めてまいります。

日付	氏名(敬称略)	寄附内容
令和2年2月26日	中町クリニック(院長 新美 親紀)	サージカルマスク(250枚)
令和2年3月5日	株式会社えびせんべいの里	不綿布マスク(100,000枚)
令和2年3月17日	中町クリニック(院長 新美 親紀)	アルコール消毒液(50L)
令和2年3月24日	中町クリニック(院長 新美 親紀)	手指殺菌消毒剤(1箱12本入)
令和2年4月8日	高橋 克典	N95防護マスク(2パック)
令和2年4月14日	中町クリニック(院長 新美 親紀)	外用殺菌消毒剤(1箱20本入×5箱)
令和2年4月28日	東海東京証券株式会社 半田支店	N95マスク(1,030枚)
令和2年5月1日	トーエイ株式会社 会長 今津 昭	サージカルマスク(10,000枚)
令和2年5月7日	有限会社カジミツ 代表 松宮政美	フェイスシールド(50セット)
令和2年5月15日	日本車輛製造株式会社 衣浦製作所	N95マスク(400枚)
令和2年5月20日	パーツ工業 鈴木 敏宏	プラスチックエプロン(200枚)
令和2年6月4日	甲新産業 会長 新生年	防護服(96着)、マスク(20,000枚) ラテックスグローブ(4,000枚)

このほか、匿名等で多くの方々にご寄附をいただきました。重ねて、感謝申し上げます。

病院だより **新** 病院コラム その1

現在の半田病院は、昭和57年(1982年)に建物が完成してから38年が経過しています。その頃の医療に求められる環境や設備と、現在のそれとは大きな違いがあり、これまで何度も建物の増築や改修をしてきました。これ以上の補強や改修は、多額の経費を要する上、長期間、診療を中断しなければならないこともあって、その対応が困難となってきました。

そのため当院では、現在の東洋町から横山町地内の農地(半田運動公園の東側、知多南部卸売市場の南側です。)に移転し、令和7年(2025年)春に新しい病院を開院する計画を進めています。

これから新しい病院が完成するまでの間、コラムを掲載していきますのでよろしくお願いいたします。

今回は、建物の設計についてお話しします。

建物を建設するためには、まず、図面を作らなければなりません。その図面を作ることを「設計」といいますが、その設計も、「基本設計」と「実施設計」の大きく二つに分けられます。

基本設計というのは、建築主(今回は半田病院)が要望する内容(「建設構想」といいます。)をもとに、その階数や面積、外観、各部屋のレイアウトなどを決めて、建物の間取りを作っていく作業のことを言います。不動産屋さんのチラシなどに描かれている住宅

の図面などがこれです。

一方、実施設計というのは、この基本設計をもとに、建設会社が建物を建設したりその費用を計算できるように、詳細な図面を作る作業のことを言い、その図面を使って建築確認申請などの手続きを進めていきます。

今、当院は、今年4月に新しい半田病院を設計するためのパートナーとなる設計事務所を選定し、基本設計に取り掛かった段階にいます。この基本設計がしっかりできるかどうかで、使いやすい、「いい病院」ができるかどうかが決まります。

そして、当院がパートナーとして選定した設計事務所は(株)内藤建築事務所と言い、京都市に本社のある設計事務所です。これまでも、広島市の新安佐市民病院や東京都の青梅市立総合病院、静岡県島田市民病院など、多くの病院の設計をしています。

これから当院は、この内藤建築事務所と一緒に「いい病院」を作っていきます。

来年2月まで基本設計を行い、3月には皆さんからその設計案に対してのご意見をいただく「パブリックコメント」の実施を予定しています。

皆さん、お楽しみに。

半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 半田市東洋町2-29 ☎(0569)22-9881 FAX(0569)24-3253
Eメール byouin@city.handa.lg.jp URL <https://www.handa-hosp.jp>



ホームページ



フェイスブック